

第33回土木史研究発表会

1. 主催 土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）
2. 期 日 【研究発表会】2013（平成25）年6月22日（土）・23日（日）
【見学会】2013（平成25）年6月21日（金）
【シンポジウム】2013（平成25）年6月22日（土）
3. 会 場 東北大学青葉山キャンパス 工学部

交通案内：

JR仙台駅から仙台市営バス「工学部経由動物公園循環」
「宮城教育大学」「青葉台」「成田山」行きにて「工学部中央」
で下車。所要時間は約20分。

4. 参加費 会員・非会員：5,000円
学生会員：2,000円
講演集販売：4,500円
※当日会場にて申し受けます。
5. 懇親会 1) 日 時：2013（平成25）年6月22日（土） 18:30～20:00
2) 会 場：あおば食堂 DOCK
3) 参 加 費：4,000円程度（学生割引あり）を予定
4) 参加方法：6月14日までに下記にお申し込みください（先着120名）。なお、一般市民も参加します。
担当 後藤光亀（東北大学大学院工学研究科）
E-mail: goto@civil.tohoku.ac.jp
6. 見学会 1) 参 加 費：2,500円程度（参加人数により多少上下します）
2) 参加方法：6月14日までに下記にお申し込みください（先着25名）
担当 後藤光亀（東北大学大学院工学研究科）
E-mail: goto@civil.tohoku.ac.jp
3) 行程（予定）
10:00 JR仙台駅西口集合→11:30野蒜築港→12:30昼食（各自用意）→14:00多賀城・蒲生→15:00荒浜→
16:00開上→17:00東北大学青葉山キャンパス（意見交換会）
7. シンポジウム 1) 日 時：2013（平成25）年6月22日（土） 15:00～18:00
2) 会 場：工学部中央棟2F 大講義室
3) 参 加 費：無料
4) 参加方法：一般市民も参加します（先着200名）。
8. ミニ土木コレクションHANDS+EYES in土木史研究発表会（東北大学）
協力 100周年事業実行委員会、土木の日実行委員会 土木コレクション小委員会
土木学会では土木の魅力や奥深さを一般市民の皆様に実感していただくことを目的に、2008年から土木構造物の貴重な歴史資料や図面、写真などを展示する「土木コレクション」を開催しています。2014年に迎える土木学会の100周年には全国巡回展示を目標に、全国大会と連動しながら各地域のコレクションを収集し、現在約70枚のパネルが完成しました。今回は、この中から10枚（予定）をセレクトして展示いたします。展示会場は工学部中央棟1階フロアです。無料でご覧頂けます。どうぞお出かけください。

両日とも、昼休みには各種小委員会の会議が予定されています。詳しくは、後日HPでご案内いたします。
土木史研究委員会HP：<http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/>

9. プログラム

◆6月22日(土)

※会場は、変更になる場合があります

時間	第1会場(201大講義室)	第2会場(220大会議室)
9:30	開会挨拶 土木史研究委員会委員長 小林 一郎	
9:50	【災害史・災害復興1】(企画) 司会:築瀬 範彦(足利工業大学)	【土木遺産】 司会:小野田 滋(鉄道総合技術研究所)
	1 帝都復興事業の事業費とその財源 ★	10 日本の煉瓦造構造物の文化遺産的価値の評価
	1 伊東孝祐・大沢昌玄・伊東孝	87 田中邦熙(日本城郭協会)
	2 戦災復興における瓦礫処理の実態	11 岸和田煉瓦の生産と煉瓦供給に関する史的研究 ★
	11 太刀川宏志(日本大学)・大沢昌玄・岸井隆幸・三友奈々	95 大井祥之(大阪府)・岡田昌彰
	3 戦災復興と同時期に行なわれた災害復興土地区画整理事業に関する基礎的研究 ー戦災復興との違いと事業推進思想ー	12 六大都市における軌道用敷石の敷設状況 ★
	17 大沢昌玄(日本大学)・岸井隆幸・三友奈々	99 岡田幸子(熊本大学)・小林一郎・仲間浩一
	4 昭和22年飯田大火と復興計画	13 楠木の大雁木にみる土木遺産としての価値に関する研究
	23 山浦直人(千代田コンサルタント)・伊東孝・伊東孝祐・大沢昌玄	107 中村康佑(熊本大学)・田中尚人・岩田圭佑
	5 平成23年東北地方太平洋沖地震による歴史的土木構造物の被災状況に関する調査報告(その2)	14 供用下にある近代化遺産の歴史的価値評価に関する考察 ー総武線秋葉原駅を対象としてー
11:55	33 阿部貴弘(日本大学)・後藤光亀・伊藤登・依田照彦	113 阿部悟(日本大学)・五十畑弘
13:00	【災害史・災害復興2】(企画) 司会:阿部 貴弘(日本大学)	【河川・水道】 司会:松浦 茂樹(建設産業史研究会代表)
	6 弘化四年善光寺地震における煤花(稲花)川の土砂災害とその後の対応 ★	15 天竜川で発見された木杭と明治初期に架設された橋との関係
	41 宮下秀樹(守谷商会)・山浦直人・井上公夫	119 渡辺浩(福岡大学)・樋口春樹・千田知弘
	7 昭和9年の室戸台風における岡山県の橋梁被害とその復旧について ★	16 中小河川の改修を巡る内務省・農林省間の「権限整備」と愛知県内の事例
	53 樋口輝久(岡山大学)・北村明音・馬場俊介	123 安井雅彦(愛知県)
	8 建設工費に着目した帝都復興橋梁の型式選定に関する研究	17 戦前における水力発電の取水方法の変化とその背景
	63 村田直哉(早稲田大学)・佐々木葉	131 中尾隼人(徳島大学)・真田純子
	9 東京市内の震災前橋梁との関係から見た復興後のアーチ橋の配置に関する考察 ★	18 金沢市末浄水場の施設について
14:40	75 白井芳樹(オオバ)	141 門田信一(アステック)・山崎廣志・安達實・海道和明・出越茂和・北浦勝
15:00	委員会企画	
18:00	土木史研究委員会設立40周年記念 東日本大震災シンポジウム 基調講演 「災害を診る土木史の眼」 篠原 修(東京大学名誉教授) 「歴史学と災害科学をつなぐ」 平川 新(東北大学災害科学国際研究所 所長) パネルディスカッション 「地震・津波で被災を受けた土木遺産群と日本一長い運河群の今後」 コーディネーター 後藤 光亀(東北大学大学院工学研究科准教授) 話題提供 「復興まちづくりと土木史」 石塚 昌志(復興庁) 「貞山運河再生・復興ビジョン～運河群の歴史を未来へ～」 久保田 裕(宮城県土木部次長) 「堀川運河周辺のまちづくりと今後の津波対策(仮題)」	

◆6月23日(日)

※会場は、変更になる場合があります

時間	第1会場(201大講義室)	第2会場(220大会議室)
8:30	【土木遺産とまちづくり】(企画) 司会:佐々木 葉(早稲田大学)	【土木史と史料・制度研究】 司会:白井 芳樹(オオバ)
	19 城下町小幡の雄川堰の形成と変遷に関する研究 ★	35 国立国会図書館憲政資料室で閲覧できる土木史関係資料について その2
	145 阿部貴弘(日本大学)・天野光一・内藤充彦・松下佳敬	251 土田宏成(神田外語大学)
	20 甘楽町における雄川堰(小堰)の保存・活用に関する取組み	36 雑誌記事にみる五高工学部・熊本高工の輩出した土木技術者の群像 ★
	155 内藤充彦(プランニングネットワーク)・阿部貴弘・関文夫・大沢昌玄	257 山中孝文(熊本大学)・小林一郎・田中尚人・星野裕司
	21 舞鶴旧海軍施設の変遷の歴史と転用に関する研究	37 工部大学校の「土木学」 ★
	159 出口あかね(京都女子大学)	261 島崎武雄(地域開発学研究所)
	22 鉄道遺産の保存と活用 岡山県美作における事例について	38 基礎自治体による土木遺産運用に向けた提言と運用状況評価の試行
10:10	163 小西伸彦(吉備国際大学)	273 永村景子(九州大学)・小林一郎
10:30	【歴史的構造物の保全と活用】(企画) 司会:北河 大次郎(文化庁)	【都市史と道路】 司会:天野 光一(日本大学)
	23 文化財建造物・土木構造物の保存と耐震対策	39 藩政文書にみる加賀道路考
	169 西岡聡(文化庁)・五十畑弘	277 門田信一(アステック)・竹谷栄一・山崎廣志・安達實・松田洋一郎・鳥居和之
	24 117年前に造られたプラトラスの再生工事の紹介 隅田川橋梁から江ヶ崎跨線橋を経て霞橋へ	40 1910年代岐阜市における市区改正事業の主体とその狙い
	173 上野淳人(オリエンタルコンサルタンツ)・大波修二・鈴木淳司・尾栢茂・朝倉康信	283 岩本一将(岐阜大学)・出村嘉史
	25 重要文化財(建造物)旧三河島污水処分場唧筒場施設の保存修理について	41 戦前期大阪における公園道路の計画思想 :南大阪公園道路網と桃ヶ池公園道路を中心に ★
	183 井川博文(文化財建造物保存技術協会)	287 八尾修司(京都大学)・山口敬太・川崎雅史
	26 重要文化財横利根閘門の保全対策について(経過報告)	42 南阿蘇の地域形成に着目した近代交通基盤整備史 ★
12:10	187 中村徹立(国土交通省)・幸加木智博・銭谷秀徳・松田貞則	297 田中尚人(熊本大学)・藤田将史・岩田圭佑
13:10	【橋梁・構造物】 司会:鈴木 圭(鹿島)	【都市の形成】 司会:真田 純子(徳島大学)
	27 『長谷川眞通氏所蔵文書』による大坂の橋の構造復元(その2)	43 石狩港・勇払港間運河計画構想に関する考察 ★
	195 松村博	307 神代順平(クマシロシステム設計)・長内戦治・田中実・戸巻昭三
	28 越中愛本橋はいつから奇橋と呼ばれるようになったのか	44 戦前の阪神運河計画について ー沿岸の都市形成における位置づけー ★
	203 貴堂巖(ケイエステック)	319 中条匡臣(京都大学)・山口敬太・川崎雅史
	29 フランスにおける木造アーチ橋の発展 ★	45 宅地供給型土地区画整理の形成過程に関する制度史的考察 ★
	209 本田泰寛(第一工業大学)・小林一郎・増山晃太	325 築瀬範彦(足利工業大学)・大沢昌玄
	30 フランスのトレイン・シェッドの歴史 ★	46 伊万里市の産業転換と市街地の形成過程
14:50	215 金井昭彦(ジェイアール東日本建築設計事務所)	337 高阪雄一(伊万里市)
15:10	【土木史一般】 司会:小林 一郎(熊本大学)	【海外の都市】 司会:平野 勝也(東北大学)
	31 古代における土木と関連する官職について ★	47 満洲国 哈大道路に関する史的研究
	219 西山孝樹(日本大学)・藤田龍之	341 橋本政子
	32 「土木工学」は成立しなかったー歴史からの考察 ★	48 植民地時代のジャカルタにおける都市変遷に関する研究 ★
	227 島崎武雄(地域開発学研究所)	349 枝川祥子(さいたま市)・天野光一・阿部貴弘
	33 80人クラスにおける演習型土木史教育の試み	49 ミャンマー国ヤンゴン(旧名ラングーン)の英領時代の都市計画の源流についての研究
	239 真田純子(徳島大学)	355 山田耕治(日本工営)
	34 土木学会100周年事業『土木遺産を訪ねて』の実践を通して見た土木遺産ツアーの課題と可能性	50 英国における共用水道遺産の立地と再利用に関する研究 ★
	243 阿部貴弘(日本大学)・小野田滋・福島秀哉・緒方英樹	359 岡田昌彰(近畿大学)
		51 イギリスの城
17:15		363 田中邦熙(日本城郭協会)
17:15	若手優秀発表表彰 土木史研究委員会発表小委員会	
	総括および閉会挨拶 土木史研究研究委員会発表小委員会委員長 五十畑弘	